

令和4年第4回木津川市議会定例会

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 氏 名	付 託 委員会
4-2	令和4年 11月17日	相楽中部消防組合 消防本部新庁舎建 設に係る請願書	<p>1 請願の趣旨</p> <p>私たち、「木津西・山城の消防所をなくさないで」の会は消防庁舎の建替えに反対していません。建替えの方法について行政と住民双方が納得できる事を目指しています。私たちは、木津西及び山城両消防出張所の存続を強く要望しています。併せて、消防署にふさわしい適地に新庁舎の建設を望んでいます。しかし、現状は行政の一方向的な考え方で進められており納得できません。</p> <p>現在（2022年9月）の木津川市の人口は79,980人ですが、人口は2033年に、生産年齢人口は2030年及び高齢人口は2040年にピークを迎えます。なお、年少人口は既に2015年にピークを迎えています。このことから今後行政に求められることは、少子高齢化を見据え過大な新庁舎の建設を控えることです。</p> <p>相楽中部消防組合消防本部（署）基本設計概要版では、「経済性への配慮」を行なうと記載され、具体的にはイニシャルコスト及びランニングコストを意識し長期的なコスト縮減を目指すとされています。</p> <p>しかし、現在進められている新庁舎の規模は現庁舎（消防本部・署、木津西及び山城出張所の延べ床面積の合計）の1.8倍で、職員1人当たりの面積にすると2.8倍となり過大です。</p> <p>しかも建設費が基本構想時点から増額になり、50億円になるようです。昨今の物価高とは言え、この金額は2020年に建設された城陽市の消防本部（署）の建設費19億円と比較して余りにも高額です。しかも、緊急防災・減災事業債の活用が可能だとしても、その充当額は50%程度と聞いており木津川市のイニシャルコストの負担額は単純計算で約25億円になり</p>	<p>「木津西・山城の消防所をなくさないで」の会 呼びかけ人</p> <p>木津川市木津川台 尾崎 一彦 木津川市兜台 北村 孝夫 木津川市兜台 木本 國昭 木津川市兜台 神野 勝三郎 木津川市相楽台 南田 博美</p>	<p>酒井 弘一 山本しのぶ</p>	<p>総務文教 常任委員会</p>

			<p>ます。 将来の医療費や年金及び子育て等の財源に悪影響をもたらすことが懸念されますので、次のとおりお願いします。</p> <p>2 請願事項</p> <p>① 新庁舎の規模を見直すこと。 見直しする際には2007年に相楽中部消防組合管理者が木津川市長に提出された「木津中央土地区画整理事業区域内での消防用地の確保について（要望）」に示されている「要望面積（消防庁舎3,000平方メートル以上）」をもとに、社会的変化を勘案して見直すこと。</p> <p>② 市民にかかる負担額の低減のため、建設費を見直すこと。 現在計画されている新庁舎のライフサイクルコストを明らかにし、住民1人当たりに係る負担額の将来予測を示し、建設費を見直すこと。</p>			
--	--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

令和4年第4回木津川市議会定例会

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 氏 名	付 託 委員会
4-3	令和4年 11月18日	木津川市のすべての子どもたちにゆきとどいた教育条件と子育て環境を求める請願	<p>請願の趣旨</p> <p>コロナ禍が2年以上続き、子どもたちの成長、発達、心身への影響は深刻になっています。子どもたちのいのちと健康を守り、学びを保障していくためには、少人数学級のさらなる前進、教職員の増員、養護教諭の配置拡充が必要となっています。</p> <p>40年ぶりに義務教育標準法の改正によって、国の責任による小学校35人以下学級に前進しました。しかし、中学校・高校はまだ実施の計画ありません。学習のつまずきや友達とのつながりに不安をもっている子どもたちに丁寧寄り添うためには、30人以下学級をめざすことが求められています。</p> <p>全国的に、また木津川市でも不登校や学校に行きづらい子どもたちが増加しています。子どもたちには、学校内に多様な学びの場として安心して過ごせる居場所が必要です。</p> <p>また、コロナ感染症が収束せず、家庭の収入が回復しない中での物価高騰は、多くの家庭の家計を直撃しています。保護者が支払う教育費の中で給食費は最も負担が重くなっています。給食費を無償にした市町村はこの5年で2倍以上に増えました。木津川市でも給食に使われる食材に補助し、保護者の負担を軽減してください。</p> <p>近年の地球温暖化の影響は様々なところに現れています。熱中症が心配される体育の授業や、自然災害時の避難場所となる体育館・講堂のエアコン設置の必要性が高まっています。設置のための計画が具体化されることに、児童生徒のみならず地域からの期待の声も高まっています。</p> <p>すべての子どもたちが安心して学ぶことができ、ゆきとどいた教育を受けることができる学校のための条</p>	<p>木津川市いきいき子育てネットワーク 木津川市加茂町美浪 代表 田中 道子 木津川市南加茂台 小森 洋子 木津川市加茂町里 松田 森幸 木津川市加茂町里 谷口 英子 木津川市加茂町里 早川 久代</p>	<p>西山幸千子 山本しのぶ</p>	<p>総務文教 常任委員会</p>

			<p>件整備を次のようにお願いします。</p> <p>請願項目</p> <p>① 市内のお米や野菜を使う地産地消をすすめ、食材を補助することで、教育費の中でも負担の大きい給食費を軽減してください。</p> <p>② 国に対して、すべての小学校で必要な専科教育が実施可能になるよう、教員定数の改善を強く求めて下さい。</p> <p>③ 学校にいきづらい子どもたちが増えています。すべての子どもたちが安心して学校生活を送れる居場所を学校の中に作ってください。</p> <p>④ 「体育館・講堂のエアコン設置を」の請願が2020年の12月議会で採択されましたが進んでいません。気候危機が強まる中、1日も早く計画を立てて設置をすすめてください。</p>			
--	--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--

令和4年第4回木津川市議会定例会

請 願 文 書 表

受理番号	受理年月日	件 名	請願の要旨	請願者の住所及び氏名	紹介議員 氏 名	付 託 委員会
4-4	令和4年 11月21日	相楽中部消防組合 消防本部新庁舎建 設に関する請願書	<p>請願の趣旨</p> <p>今、相楽中部消防組合本消防本部消防庁舎が木津川市城山台9丁目1の土地に建設されようとしています。</p> <p>この土地は幹線道路に面しておらず、6メートルの道路を挟んで住宅が建っています。間口が狭く袋小路となっており、北側は急斜面の崖、南側は谷で土砂災害特別警戒区域に隣接しています。ため池・棚田等があった急傾斜地が埋め立てられ、庁舎建設部分の大部分が盛土となっています。予測不能な災害が起きている今日の状況下、「消防署が危ない」ということにもなりかねません。</p> <p>また、新庁舎建設に伴い、木津西出張所と山城出張所の廃止が計画されています。出張所がなくなること救急車、消防車の到着が、木津西地域では3分程度、山城地域では5分程度遅れることが予想されています。助かる命も救えないということになりかねません。</p> <p>安心の消防を求めて、次の事項を請願します。</p> <p>請願項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 相楽中部消防組合消防本部（署）新庁舎の建設場所を見直してください。 2. 新庁舎建設にともなう木津西出張所の廃止計画をやめてください。 3. 新庁舎建設にともなう山城出張所の廃止計画をやめてください。 	<p>安心の消防を求める会 木津川市山城町平尾 岡田 眞一 木津川市木津川台 霜田 勤 木津川市南加茂台 岩田 君子</p>	<p>酒井 弘一 山本しのぶ</p>	<p>総務文教 常任委員会</p>